

愛 & ハート

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

2021年度 事業報告

- 法人本部
- 愛の家
- あいハート須磨
- あいハート離宮前

2021年度 決算報告

新人紹介

あいハート須磨
リニューアルOPEN案内 1

あいハート須磨デイ
利用者の皆様



259号

2022 June

法人本部

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(1) 更なるSNSの充実

● 法人Webサイトで施設のイベントや愛&ハート電子版の掲載等、定期的なメンテナンスは継続して実施しました。一方、当初計画していた法人人口ゴの作成や動画作成については法人の収支状況を踏まえて今年度の作成は見送ることとなりました。

(2) 愛&ハートの活用

● 愛&ハートで定期的に脳梗塞リハビリ事業の広報やあいハート須磨増床に伴う進捗状況の案内を行いました。



2. 安心で信頼されるサービスの提供

(1) 法人内事例発表会の開催

● 2022年度から開催する法人内事例発表会の内容を立案し、経営会議で検討を行った上で7月に開催することを決定しました。加えて、開催に向けたスケジュールの策定を行いました。

3. 安定的で継続性をもった経営

(1) 資金投資計画の策定

● 各拠点における2024年度までの収支予測に基づき、金融資産残高、

投資案件の優先順位等の確認を行い、あいハート須磨の土地無償貸借契約終了後の対応を検討する基礎資料としました。

(2) 財務状況の健全化

● 2020年度決算数値により法人全体及び各事業の経営指標分析を実施しました。社会福祉連携推進制度の施行に伴い、今後所轄庁による社会福祉法人の経営状況の指導が強化される方向性にあることから、今後も継続して分析及び改善を進め経営の安定化に努めます。

● 脳梗塞リハビリテーション神戸須磨のレベニューシェア率及びテナント賃料の減額交渉を行った結果、約1年間の期間限定ではあるものの減額の了承を得ました。2022年度のコストに反映されます。

● 新たに、有料版の会議システム(ZOOM)を契約し、脳リハのオンラインセミナーやイベント等、法人内で有効に活用できるように導入しました。

(3) 寄付金減少への対応

● 特養の増築をトリガーとした寄付募集施策を実施しました。NTT労働組合関連組織を中心に増築資金力アップの要請を行い、トータルで3千万円を超える寄付金を頂戴しました。

● 愛&ハートに日頃の支援に対する感謝の文面を掲載するとともに、振替払込用紙を封入して寄付の依頼を行いました。結果、13件(個人)の寄付を頂戴しました。

(4) 人材確保と育成

● 高等学校(九州、四国、兵庫県)を対象に、あいハート増床に伴う追加募集(2次募集)の求人票を送付し、兵庫県下の高校については電話で就職状況等の確認を行いました。高校生

の採用に繋げることはできませんでした。

● 介護福祉士養成校を訪問し施設の紹介及び新卒募集内容について説明を行いました。実習生の受け入れ推進やリニューアルによる追加募集の他、ノリリフトケアやIT機器等の導入等、労働環境の整備についても訴求しました。



● 各施設からの依頼に基づき迅速に無料求人サイトに掲載するとともに、見出しの変更など定期的なメンテナンスを行いアクセス数増加に努めました。

(5) 規律性や倫理観を持った法人運営(ガバナンス)の更なる強化

● 大阪府行政監査指導の対応を行いました。軽微な指摘事項が1件ありましたが、遅滞なく改善策を講じて改善報告書を提出しました。

● 理事、評議員の任期満了に伴う就任依頼等の対応を行うとともに、新たに副理事長を配置し、本部を法人の統括拠点とした新たな組織体制を構築しました。

● 副理事長配置に伴う定款変更をはじめ、新人事考課、賃金制度の一部見直し、特別休暇の整理による就業規則の改正等、諸規程類の一部改正を行いました。

● 法人クレジットカード導入に伴い、諸規程類(クレジットカード取扱規程の新設、経理規程の一部改定)を整備しました。

● 改正女性活躍推進法施行に伴い、一般事業主行動計画を作成し公表しま

した。

● 理事会、評議員会については、集合、リモート併用のハイブリッド型の開催を基本とし、その定着を図りました。

● 会計マニュアルを作成し担当者向けの研修会を企画、実施しました。また、電帳保存法の改正に伴い、ストレージ保存サービス(TDS)の契約と対応準備を行いました。

4. 地域交流の推進

● 愛&ハートやWebサイトを通じて施設の取り組み内容を発信し、地域における施設の役割や存在意義を広く発信しました。

5. その他

● 5月に設立50周年記念式典開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ中止しました。準備していた記念誌及び記念品については関係者に個別に送付しました。

● 大阪市女性活躍リーダーディングカンパニー認証及び「大阪府男女いきいき・元氣宣言登録」を取得し、男女が共に働きやすい職場であることをPRするツールとして認証マークを法人Webサイトに掲載しました。

愛の家

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(1) 声々の収集と課題の解決

① 地域のみなさまの「声々」については、1件のみいただきました。(利用者関連) 工房みさき利用者からのご意見でしたが、スタッフに意見を聞いて

もらったことで納得していただいたようでした。年間をおおしての「声」が1件のみだったことについては、収集に課題が残る結果となりました。



②児童からの「声」では給食懇談会については給食懇談会で共有し、リクエストメニューとして献立に反映しました。イベントの要望については、コロナ禍でもあり主に屋内で実施できるもの（映画会等）を実施しました。

③職員からの「声」については、職員面談を実施できていません。次年度の優先課題として取り組んでいきます。

(2) 積極的な情報提供

①保護者会については、度々中止がありました。開催の都度、事故や「声」、施設におけるコロナ感染予防対策やワクチン接種状況等、また他施設の動向等を適宜お知らせしました。

②「愛の家だより」は毎月発行し施設での行事等を伝えました。「通知票」については2月、施設で新型コロナウイルスのクラスターが発生したため発行できませんでしたが、それ以外毎月利用者の生活状況を保護者等に伝えることができました。

2. 安心で信頼されるサービスの提供

(1) 安心・安全な食事の提供

①アレルギー食の誤提供防止と利用者の健康維持を目的とした給食懇談会は、毎月開催しました。利用者の体重管理を行い、体重の増減に合わせて主食の内容や量を調整しました。

また健康診断の結果から不足している栄養素を含んだ献立メニューを給食会社に依頼する等、健康管理に注意を図りました。

②食事時間帯の事故防止のための複数配置については、部門長、主任が応援に入るなどにより継続的に対応しました。

③特別メニューや季節メニューについては給食懇談会で献立内容を確認しながら楽しい食事時間を提供できるようにしました。

(2) 信頼性の向上

①第三者評価の改善事項にあったマニュアル整備については、マニュアル整備委員会での検討・整備・見直しを行い、各現場で運用しました。また「基本業務チェックシート」についても内容を見直し年間2回実施しました。

②作業棟建設については、日本財団の「みらいの福祉施設建築プロジェクト」を活用することにしましたが、協力していただける設計会社の選定等に時間を要したため間に合いませんでした。次年度は計画的に申請していきます。

③内部監査については、下期予定していた監査が施設でクラスター発生のため不十分に終わってしまいました。現金監査も毎月実施することができませんでした。

(3) 事故防止の取り組み

①危険箇所の発見や報告があった場合は速やかに修繕してきました。利用者の破損によるものも多くありました。

②安全衛生委員会メンバーによる職場点検での不適箇所については、ほぼ当月内に改善を行いました。また安全衛生委員会では産業医によるコロナ

ウイルス関連の話があり、職員や利用者の発熱時での対応では助言をいただきました。

③事故については30件、ヒヤリハット事例については7件ありました。周知や再発防止のための報告書は簡潔にわかりやすく記載することが課題となりました。

(4) 防災への取り組み

①年2回の総合訓練について、上期は予定どおり実施しましたが、1月予定していた総合避難訓練はコロナ対応により実施が3月に延期となりました。また消防署の立会についても「まん延防止等重点措置」が実施されていたため中止となってしまいました。

②児童部職員による自主避難訓練は、毎月実施しました。訓練が常態化しているため、次年度は再度課題をもつて取り組むこととします。

3. 安定的で継続性を持った経営

(1) 当初予算の必達

①きぼう、かがやき、工房みさきについては、当初予算を達成しました。かがやきについては、コロナ禍による帰宅制限等で利用率(95.0%→98.7%)向上したことが大きな要因となりました。グループホームについては、実質定員1名減を補充することができなかつたことにより予算を達成することができませんでした。

②栄養士配置加算については、栄養士の補充ができなかつたため算定することができませんでした。

③機器老朽化による更改については見積もり比較を行い、コスト意識を徹底しました。

(2) 安定した施設の運営

①採用については、就職情報サイト

TSUNORUでは、効果は見られませんでした。ライオンスアカデミーによる地方の高校への採用活動については、4名の高卒者を新規採用することができました。

②訪問活動については、コロナ禍により直接活動は実施しませんでした。が、実習生の受け入れ等により学校とは良好な関係を築いています。

③新型コロナウイルス感染予防対策については、十分に注意を払っていましたが、2月にクラスターを発生させてしまいました。幸い利用者、職員とも重症患者が発生することはありませんでしたが、今後も感染予防対策に十分注意を払っていきます。



④業務継続計画(BCP)については、マニュアル作成に着手し現在策定中です。2024年の義務化に向けてマニュアル作成や訓練を実施していきます。

(3) 職員の育成

①新卒採用者2名については、リーダーが主となって育成してきました。1名については、夜勤業務も行い順調に育成していますが、1名については、体調不良のため2月末に退職しました。

②外部研修やセミナーについては、コロナ禍によりほとんどがオンライン研修での参加となりました。総数52名が研修やセミナーに参加し、加算対象となる強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)には5名受講しました。

③支援力向上委員会を毎月開催し各部門の処遇困難事例を発表、課題の解決に向けて意見交換を実施しました。

また委員会冒頭には勉強会を実施し支援についてのスキルアップを図りました。

4. 地域交流の推進

(1) 地域の方々との交流

- ① 地域のイベント等はコロナ禍の影響により開催はありませんでした。
- ② 11月下旬、コロナ禍も落ち着きみせたので民生委員主催のバーベキュー大会を行うことができました。次年度も開催の予定です。
- ③ 11月、民生委員による喫茶サロンを再開することができましたが、1月にはコロナ禍により中止となったため、職員のみでサロンを開催しました。利用者は大変喜んでいました。

(2) ボランティアの受入れ拡大

- ① 実習生については、施設でのコロナ対策状況を説明したうえで、34名(きぼう6名、かがやき2名、看護26名)を受け入れました。大学生2名の実習生については、新規採用することができました。
- ② 今年度、ボランティアの受け入れについては、コロナ禍の影響でお断りさせて頂いていただきました。

あいハート須磨

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

(1) 情報発信ツールのリニューアル

- 求人専用スマホサイトの公開に向けた対応を進めました。(公開日：7月1日)
- 現行ホームページに掲載している写

真のリニューアルや料金表の現行化を行いました。

(2) 情報収集と課題解決の実施

- 「お客様の声」として、11件のお申出をいただきました。

(3) 「地域における公益的な取組」状況の発信

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による活動休止に伴い、情報発信は実施できませんでした。

(4) デイサービスとショートステイに関する営業ツールの新設

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者の利用自粛および改修工事の影響(短期入所所の減床、工期の延長等)を考慮して、実施時期を2022年6月に延期しました。

2. 安心で信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

(1) サービス向上の取り組み

- 人材育成
 - ① ノーリフトケアコーディネーター研修や認知症ケア実践者研修等、育成計画に基づいた外部研修の受講を推進しました。
- 介護福祉士実務者研修の受講や自習時間の変更等、EPA介護福祉士候補生に対する学習支援を実施、2018年入国者が介護福祉士に合格しました。
- 部門長・主任等を対象にリフレクシオンシート(新人事考課制度の育成ツール)の運用について認識合わせを行い、年間目標の設定、半期毎の振り返りを行いました。



(2) ノーリフトケアの導入・定着化

- 移動式リフトやスライディングシート・ボードの定着化及び活用量の増加に向けた施設内研修を実施しました。
- 天井走行リフトの導入に向けたメーカー選定およびレールや家具等の配置を決定、増築棟の多床室2部屋への設置が完了しました。
- 腰痛予防に関するリスクアセスメントに基づいたリスク回避・低減策の立案・実行・評価(腰痛予防リスクマネジメント)の実施には至りませんでした。

(3) 部門別重点施策の推進

- 部門別中期計画(2020年度～2022年度)の遂行により、サービスの向上及び各部門の「強み」の確立・強化に取り組みました。
- ショートステイに関する対応力の強化に向けた受付・契約体制の見直しを実施しました。

(2) 防災・防犯対策

- 四半期毎に安全確認訓練とツールの整備(職員リストの現行化)を実施しました。
- 法定避難訓練(年2回)および不審者侵入時の対応を想定したグループワーク(防犯訓練)を実施しました。



3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令遵守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 財務状況の健全化

- 特養の増床及びプライバシー改修計画とデイサービスの大規模改修計画を推進、補助金対象工事の検査・

実績報告を完了しました。(増床：68,400千円、プライバシー改修：32,296千円)

- 各種補助金の獲得・最大化に向けた対応を行いました。(開設準備：18,232千円、介護ロボット関連：(内)58,175千円↓(実績)67,111千円、コロナ関連：4,628千円等)
- 借入金利息に対する補助制度利用に向けた対応を行い、請求処理を完了しました。
- 特養のプライバシー改修対象居室について神戸市と変更協議を行い、ショートステイ利用者に対する予約取消や利用制限(延べ約590名)とそれに伴う収入の減少(約7,000千円)を回避しました。

(2) 準職員に関する賃金改定内容・方法の見直し

- 正職員の賃金制度の見直しを基に準職員の賃金改定内容を決定、準職員就業規則を改正しました。
- 全準職員を対象に面談時に賃金改定内容等を個別に説明、改正準職員就業規則に基づいた賃金改定を実施しました。

(3) 人材確保

- 新卒求人サイトを利用したスカウトメールの発信や就職セミナー(来所型・オンライン型)の告知、就職フェアへの出展等のアプローチを行いました。また、法人本部による学校訪問により、これまで採用実績が無かった介護福祉士専門学校(姫路市)の新卒者1名を採用することができました。

- 特養増床後の職員体制の整備に向け、人材紹介会社を通じて介護職員2名を採用しました。

- 介護職員処遇改善補助金の情報収集を行い、処遇改善内容(支給方法、金額等)を決定しました。

- 全職員に対する個別面談を実施して、各個人の希望や職場の課題等をヒアリングしました。デイサービスの職員に対しては日勤以外の勤務(早出・遅出・夜勤)の可否を確認するとともに、異動や雇用形態の見直しに関する対話も実施しました。



- (4)BCCPおよび研修・訓練計画の策定
オンラインセミナーの受講等、情報収集は行いましたが、計画策定の着手には至りませんでした。

- (5)マネジメント体制の見直し
事務長を副施設長へ変更するとともに人事考課体制等の見直しを実施しました。

- (6)新規事業
「脳梗塞リハビリテーション神戸須磨」(営業チャネルの拡大)や「後遺症改善事例の発信」、各種営業施策の展開により、単月黒字を3度達成しました。脳卒中当事者とのトークイベント(Web配信)を開催、当日の模様

- (7)計画的な改修工事の実施
「多床室のプライバシー改修」や「デイサービスの拡張、3人用浴槽の更改、脱衣室の改修」等を推進、補助金対象工事は全て完了しました。

- (8)あいハート須磨ユニオンとの連携強化
予算の進捗状況を共有するとともに、

- ① 準職員の賃金改定の見直し、② 有給休暇の運用、③ クラスター対応への慰労、④ 介護職員処遇改善補助金に基づく処遇改善等について意見交換を行いました。

- (9)新型コロナウイルス感染症対策
基本対策(消毒・換気、入館管理、オンライン面会等)やタイムリーなPCR検査、円滑なワクチン接種に向けた対応を行いました。特養でクラスターが発生、デイサービスと厨房の営業を2週間休止しました。

4. 地域交流の推進

(地域社会の活動拠点として、施設と利用者者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。)

(1)ポランティアの受入推進

- NIT・OBによる植栽・施設内清掃とデイのドライヤーに限定した受入れとなりました。

(2)イベント等の実施

- フロア間の交流制限等、感染予防対策を講じながら各種イベントを実施しました。

(3)自治会支援

- 主な自治会行事が開催されなかったため、準備作業等の支援機会は発生しませんでした。

(4)「地域における公益的な取組」の推進

- 須磨区社会福祉法人連絡協議会(ほか)と「かへんネット(須磨)」の活動に参加、総合相談事業の試行実施等を行いました。

- 地域サポート施設事業(食事会支援、コミュニティカフェ)については、運営主体(NPO法人、地域住民)の意向に沿った対応を行いました。

あいハート離宮前

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望にこたえる運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

(1)情報収集と課題解決の実施

- 「お客様の声」の用紙の配備に加え、専用のファイルをケアステーションに設置し、職員の聴き取りによる収集に注力しました。2021年度には主に職員の聴き取りによるもので37件のお客様の声が寄せられました。

- 「お客様の声」のうち洗面所の排水に関するものは(洗濯工事で)解消し、物を盗られる(隠される)という訴えに関して虐待があるのではないかと、うご友人からのお申し出などに対応しました。

(2)情報発信

- 2021年度の運営懇談会は新型コロナウイルス感染症対策で書面での開催となりました。上半期には介護保険制度の改定と新たな加算算定について、下半期には見守りシステムの説明と合意形成をしました。

- 「あいハート離宮前通信」は月刊で発行するとともにホームページに掲載をしました。また、やむなく面会の制限をするなど入居者の状況などを把握いただく機会が減少していることから、担当職員が認めた近況報告のお手紙を毎月ご家族にお送りする取り組みを継続しました。その他の情報発信ツールとしてインスタグラムを活用し、フォロワーは370人を超えました。

2. 安心で信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

(1)サービス向上の取り組み

● 《満足》を超える

● 《感動》を生む介護サービスとは何かを、月例会議に於いて座談会方式にて具体的な事例を持ち寄って話し合うなど考える機会を持ち、新たな提案を抽出しました。

● (季節の装飾、フロア別行事、ドライブ、近況報告のお手紙等)

● ノーリフトケア委員会が中心となって理論や技術の勉強会を定期的に開催しました。また、移乗に係る介護ロボットの選定では床面からのすくい上げもできる移動式リフトを兵庫県補助金の活用をして導入しました。

● 面会に関しては、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、1階共用部に於けるアクリルボード越しの面会とオンラインによるリモート面会を併用して実施しました。

● 新型コロナウイルス感染症対策として、外部講師によるアクティビティが大幅に制限されましたので、DVDや各種教材を活用したアクティビティを提供しました。

● 入居者の安全と安楽の更なる向上を図るため、兵庫県の補助金を活用して、心拍・呼吸数の測定による睡眠状態の把握とカメラによる見守りを行う介護ロボットを導入しました。

● 全入居者を対象に、6ヶ月ごとの定例のサービス担当者会議の前月に長谷川式スケールを実施し、ご家族に



とって、見える化された客観的な指標としてお伝えしました。

● バイタル・表情等から日々の体調や変化を把握して異常の早期発見に努め、体調不良を認められた際には24時間の連絡体制としました。嘱託医とLINE、電話等によりリアルタイムに連携を図りながら、重症化や入院の減少に努めました。(2021年度平均稼働率：98.1%)

(2) 事故防止と再発防止の取り組み

● ヒヤリハットは381件(前年度364件)の収集がありましたので、要素別・時間帯別・場所別にデータ化し、職員配置や業務フローを見直すなどホーム全体のリスクマネジメントに活用しているところです。一方で事故報告は軽微なものを含め121件あり、うち行政報告の対象となる事故は3件でした。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

● 世界的な新型コロナウイルス感染拡大により、見守りシステムの導入に係る工事や部品の供給が遅延したため、見守りシステムを活用してのヒヤリハットの収集強化と事故件数低減への取り組みは、次年度に繰り越すこととなりました。

● 新型コロナウイルス感染症対策として、感染状況に応じた面会や外出の制限にご協力いただきました。

● PCR検査や計3回のワクチン接種など、感染拡大防止や収束(終息)に向けた取り組みを迅速に行いました。

(4) 防災・防犯対策

● 法定避難訓練(年2回)と自主訓練(神戸市シエイクアウト訓練等)を実施しました。



● 四半期毎にメーリングリストを活用した安否確認訓練を実施しました。登録率は概ね100%だったものの返信率は計画を下回り、次年度に向けた課題となりました。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令順守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 新賃金制度・新人考課制度への円滑な移行

● 正職員、準職員ともに月例会議や職員面談に於いて新賃金制度の説明と質疑を行いました。また、制度の運用や評価基準の統一を目的とした考課者ミーティングを開催し課題を共有しました。

(2) 入居一時金の料金プラン改定への対応

● 新料金プランに則した待機者の発掘に主眼を置いた営業活動を事業計画としておりましたが、訪問は年度を通じて自粛せざるを得ず、DMやFAXを中心とした営業の展開となりました。

● 新料金プランに移行後のプラン別申し込み状況、償却益の動向・推移について把握し、定期的に経営会議にて報告をしました。

(3) 人材確保と育成

● 月例会議に於いて法人理念や新たに策定した「中期ビジョン」の共有をしました。

● 2018年度入国のEPA介護福祉士候補者が介護福祉士の国家試験に合格しました。

● 年次有給休暇の時季指定義務による規定日数を対象の職員全員が取得しました。

● 事例発表会に向けたPTを立ち上げ、

研究テーマを決定するとともに職員を対象としたアンケートを実施するなど、発表に向けた研究を進展しました。

● 見守りシステムの活用に関するPTを立ち上げ、入居者の安全・安楽に資するとともに、職員の負担やストレス軽減に繋がる職員配置や業務フローを検討しました。

● 施設長と職員との個別面談を実施し、悩みの相談やキャリアプラン、ホームの課題、職場への要望などについてヒアリングを実施しました。これらは24項目に分けて緊急性の高いものから解決を目指し、四半期ごとに役職者会議で共有しています。

(4) 当期資金収支差額の確保(最大化)

● 介護保険制度(介護報酬)の改定により新設された加算のうち、算定可能な加算は多職種連携によって4月からすべて算定したことにより、年間約3.8百万円の増収となりました。

● 各種経営指標から算出して目標設定した要介護度の構成プランを達成すべく、病院や老人保健施設、居宅介護支援事業所を中心に営業を展開しました。また、入居者の要介護度を全件見直して乖離が明らかケースでは区分変更申請を依頼しました。

● 入居一時金償却益減収の解消に至る所用期間の見直しに伴うキャッシュフローの安定と借入償還余裕率の適正化を目的に、建物の建設に係る借入金金の返済期間伸長を借入先金融機関に協議し決済を得ました。(年間約12百万円改善しました。)

● 今年度の限定要素である見守りシステムの導入に係る備品コストを除いた事務費・事業費の総額はほぼ例年並みで着地しました。但し、人材紹介会社への手数料や設備の修繕費に於

いて大幅なコストアップがありました。

● 待機者や検討中のお客様に対して「あひハート離宮前通信」を送付するなど関係の維持に努め、退居後の早期契約を目指しました。

4. 地域交流の推進

(地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。)

(1) ボランティアの受入推進

● 新型コロナウイルス感染症対策により中庭の剪定など一部のボランティアを除き、書道や陶芸、太極拳、フラダンス、アロマ、茶道等のボランティア講師の受け入れがほぼ皆無となりました。

(2) イベント等の実施

● 納涼祭(夏祭り)や敬老祝賀会、クリスマス会はフロア別による密を避ける方法で小規模ながら実施をいたしました。また、毎年実施していただきました地元小学校との交流会は断念することとなりましたので、職員が講師として小学校に赴き介護施設への理解を深めるための特別授業を実施し、小学生からは段ボールや厚紙、色紙で手作りしたゲームなどの奇贈を受けました。

● 外出の制限にご協力いただいておりますので、月替わりで館内の特定の場所に季節の飾りつけを施し季節感を味わっていただきました。



2021年度 決算報告

▶法人単位資金収支計算書 (自)2021年4月1日 (至)2022年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	591,613,000	604,812,210	△ 13,199,210
		老人福祉事業収入	125,602,000	125,502,674	99,326
		児童福祉事業収入	89,662,000	91,932,727	△ 2,270,727
		就労支援事業収入	2,519,000	2,487,627	31,373
		障害福祉サービス等事業収入	383,449,000	385,032,100	△ 1,583,100
		リハビリ等事業収入	15,404,000	14,620,100	783,900
		借入金利息補助金収入	0	254,387	△ 254,387
		経常経費寄附金収入	18,775,000	19,223,067	△ 448,067
		受取利息配当金収入	913,000	916,707	△ 3,707
		その他の収入	11,701,000	12,265,473	△ 564,473
	事業活動収入計(1)	1,239,638,000	1,257,047,072	△ 17,409,072	
	支出	人件費支出	867,380,000	857,712,977	9,667,023
		事業費支出	184,518,000	187,050,752	△ 2,532,752
		事務費支出	142,906,000	141,253,452	1,652,548
		就労支援事業支出	2,969,000	3,039,926	△ 70,926
		利用者負担軽減額	35,000	37,558	△ 2,558
支払利息支出		2,646,000	2,965,337	△ 319,337	
その他の支出		9,421,000	9,329,683	91,317	
流動資産評価損等による資金減少額		64,000	64,365	△ 365	
事業活動支出計(2)		1,209,939,000	1,201,454,050	8,484,950	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		29,699,000	55,593,022	△ 25,894,022	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	128,627,000	122,660,444	5,966,556
		施設整備等寄附金収入	31,160,000	33,163,000	△ 2,003,000
		設備資金借入金収入	218,000,000	218,000,000	0
		固定資産売却収入	138,645,000	18,457,250	120,187,750
		施設整備等収入計(4)	516,432,000	392,280,694	124,151,306
	支出	設備資金借入金元金償還支出	21,982,000	21,981,279	721
		固定資産取得支出	428,489,000	317,064,568	111,424,432
		ファイナンス・リース債務の返済支出	5,649,000	5,525,400	123,600
		施設整備等支出計(5)	456,120,000	344,571,247	111,548,753
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	60,312,000	47,709,447	12,602,553
その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	410,000	400,000	10,000
		積立資産取崩収入	16,623,000	17,577,859	△ 954,859
		その他の活動による収入	76,000	110,142	△ 34,142
		その他の活動収入計(7)	17,109,000	18,088,001	△ 979,001
	支出	長期貸付金支出	1,000,000	1,000,000	0
		積立資産支出	77,619,000	61,944,266	15,674,734
		その他の活動支出計(8)	78,619,000	62,944,266	15,674,734
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 61,510,000	△ 44,856,265	△ 16,653,735
	予備費支出(10)	0	—	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	28,501,000	58,446,204	△ 29,945,204	
前期末支払資金残高(12)	355,137,651	355,137,651	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	383,638,651	413,583,855	△ 29,945,204		

▶法人単位事業活動計算書 (自)2021年4月1日 (至)2022年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)		
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	604,812,210	607,015,583	△ 2,203,373	
		老人福祉事業収益	125,502,674	127,927,478	△ 2,424,804	
		児童福祉事業収益	91,932,727	82,155,920	9,776,807	
		就労支援事業収益	2,487,627	2,643,959	△ 156,332	
		障害福祉サービス等事業収益	385,032,100	355,021,138	30,010,962	
		リハビリ等事業収益	14,620,100	10,132,100	4,488,000	
		経常経費寄附金収益	19,223,067	22,341,981	△ 3,118,914	
		サービス活動収益計(1)	1,243,610,505	1,207,238,159	36,372,346	
		費用	人件費	863,964,104	902,572,858	△ 38,608,754
			事業費	187,050,752	173,012,179	14,038,573
	事務費		141,253,452	146,025,981	△ 4,772,529	
	就労支援事業費用		3,039,926	3,099,837	△ 59,911	
	利用者負担軽減額		37,558	78,884	△ 41,326	
	減価償却費		87,363,207	84,853,200	2,510,007	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 25,926,813	△ 24,117,280	△ 1,809,533		
	徴収不能額	64,365	0	64,365		
サービス活動費用計(2)	1,256,846,551	1,285,525,659	△ 28,679,108			
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 13,236,046	△ 78,287,500	65,051,454			
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	254,387	0	254,387	
		受取利息配当金収益	916,707	961,265	△ 44,558	
		その他のサービス活動外収益	12,781,698	15,343,372	△ 2,561,674	
		サービス活動外収益計(4)	13,952,792	16,304,637	△ 2,351,845	
	費用	支払利息	2,965,337	2,601,732	363,605	
		その他のサービス活動外費用	10,538,510	10,803,787	△ 265,277	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	448,945	2,899,118	△ 2,450,173			
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 12,787,101	△ 75,388,382	62,601,281			
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	122,660,444	3,422,822	119,237,622	
		施設整備等寄附金収益	33,163,000	120,000	33,043,000	
		その他の特別収益	17,569	12,990	4,579	
		特別収益計(8)	155,841,013	3,555,812	152,285,201	
	費用	基本金組入額	33,163,000	120,000	33,043,000	
		固定資産売却損・処分損	238,739	13,709,044	△ 13,470,305	
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 71,328	0	△ 71,328	
		国庫補助金等特別積立金積立額	122,660,444	3,422,822	119,237,622	
		特別費用計(9)	155,990,855	17,251,866	138,738,989	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 149,842	△ 13,696,054	13,546,212			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 12,936,943	△ 89,084,436	76,147,493			
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	40,201,626	46,642,804	△ 6,441,178		
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	27,264,683	△ 42,441,632	69,706,315		
	基本金取崩額(14)	0	0	0		
	その他の積立金取崩額(15)	15,305,391	83,523,682	△ 68,218,291		
	その他の積立金積立額(16)	54,861,888	880,424	53,981,464		
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△ 12,291,814	40,201,626	△ 52,493,440		

資産の部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	488,845,672	428,927,490	59,918,182
現金預金	225,228,066	241,252,304	△ 16,024,238
事業未収金	185,957,145	177,889,850	8,067,295
未収金	100,000	0	100,000
未収補助金	69,558,461	1,587,000	67,971,461
貯蔵品	696,160	805,416	△ 109,256
立替金	893,282	98,614	794,668
前払費用	6,253,558	7,041,606	△ 788,048
仮払金	159,000	252,700	△ 93,700
固定資産	2,498,977,704	2,248,049,637	250,928,067
基本財産	1,231,337,152	996,737,394	234,599,758
土地	217,941,374	217,941,374	0
建物	1,012,395,778	777,796,020	234,599,758
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	1,267,640,552	1,251,312,243	16,328,309
土地	190,356,265	190,356,265	0
建物	487,087,705	503,825,612	△ 16,737,907
構築物	28,243,446	18,172,243	10,071,203
車輛運搬具	63,841	728,588	△ 664,747
器具及び備品	65,698,848	28,524,929	37,173,919
建設仮勘定	16,568,000	46,911,500	△ 30,343,500
有形リース資産	5,218,012	7,896,706	△ 2,678,694
権利	41,977,656	41,977,656	0
ソフトウェア	671,316	598,002	73,314
無形リース資産	3,166,390	5,301,614	△ 2,135,224
長期貸付金	1,000,000	400,000	600,000
退職給付引当資産	61,603,426	57,567,086	4,036,340
建設修繕積立資産	280,900,328	237,266,081	43,634,247
備品等購入積立資産	24	4,939,539	△ 4,939,515
施設整備等積立資産	28,000,000	28,000,000	0
基金積立資産	18,386,848	17,525,083	861,765
措置施設繰越特定積立資産	6,000,000	6,000,000	0
差入保証金	3,056,100	3,056,100	0
長期前払費用	559,398	669,540	△ 110,142
その他の固定資産	29,082,949	51,595,699	△ 22,512,750
資産の部合計	2,987,823,376	2,676,977,127	310,846,249

負債の部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	134,674,661	147,255,377	△ 12,580,716
事業未払金	72,116,838	70,285,145	1,831,693
1年以内返済予定設備資金借入金	19,089,924	31,055,729	△ 11,965,805
1年以内返済予定リース債務	3,998,520	4,813,920	△ 815,400
未払費用	154,220	173,840	△ 19,620
預り金	4,158	6,320	△ 2,162
職員預り金	2,008,401	2,375,208	△ 366,807
仮受金	0	2,895	△ 2,895
賞与引当金	36,324,400	37,578,320	△ 1,253,920
未払消費税等	978,200	964,000	14,200
固定負債	727,171,529	520,632,924	206,538,605
設備資金借入金	560,466,845	352,482,319	207,984,526
リース債務	4,385,880	8,433,680	△ 4,047,800
退職給付引当金	92,480,969	85,719,090	6,761,879
長期預り金	69,837,835	73,997,835	△ 4,160,000
負債の部合計	861,846,190	667,888,301	193,957,889

純資産の部			
	当年度末	前年度末	増 減
基本金	1,234,294,979	1,201,131,979	33,163,000
第1号基本金	1,234,294,979	1,201,131,979	33,163,000
国庫補助金等特別積立金	570,686,821	474,024,518	96,662,303
その他の積立金	333,287,200	293,730,703	39,556,497
建設修繕積立金	280,900,328	237,266,081	43,634,247
備品等購入積立金	24	4,939,539	△ 4,939,515
施設・設備整備積立金	28,000,000	28,000,000	0
基金積立金	18,386,848	17,525,083	861,765
措置施設繰越特定積立金	6,000,000	6,000,000	0
次期繰越活動増減差額	△ 12,291,814	40,201,626	△ 52,493,440
(うち当期活動増減差額)	△ 12,936,943	△ 89,084,436	76,147,493
純資産の部合計	2,125,977,186	2,009,088,826	116,888,360
負債及び純資産の部合計	2,987,823,376	2,676,977,127	310,846,249

監査報告書

2022年5月17日

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
理事長 橋本 寿樹 様

監事 清水 照明
監事 村山 盛光

私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要会計点において適正に表示しているものと認めます。

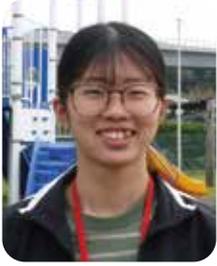
以上

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						225,228,066
現金	現金手許有高	—	—	—	—	65,048
預り現金		—	運転資金として一時預かり現金	—	—	21,765
普通預金		—	—	—	—	225,141,253
普通預金 本部			小計			67,137,737
普通預金 須磨			小計			9,523,429
普通預金 愛の家			小計			134,695,525
普通預金 離宮前			小計			9,802,654
普通預金 リハビリ事業			小計			3,981,908
事業未収金						185,957,145
事業未収金 国保連	国保連他	—	3月分介護報酬他	—	—	138,082,412
事業未収金 利用者	利用者	—	3月分利用者負担金他	—	—	38,359,900
事業未収金 その他	市町村他	—	受託事業他	—	—	9,514,833
未収金	兵庫保険サービス	—	賠償保険金	—	—	100,000
未収補助金	大阪府他	—	福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金他	—	—	69,558,461
貯蔵品	入居施設他	—	事業消耗品他	—	—	696,160
立替金	利用者他	—	入居者立替金他	—	—	893,282
前払費用	兵庫県社会福祉協議会	—	施設賠償保険他	—	—	6,253,558
仮払金	職員他	—	行事費用等概算払い分	—	—	159,000
			流動資産合計			488,845,672
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(知的障害児施設(入所)「きぼう」) 大阪府泉南郡淡輪1600番地の2 (施設入所「愛の家」)大阪府泉南郡淡輪1600番地の2 (施設入所「愛の家」)大阪府泉南郡淡輪1600番地の4	—	第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	—	—	64,887,467
		—	第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	—	—	143,753,907
		—	第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	—	—	9,300,000
			小計			217,941,374
建物	(あいハート須磨拠点) 神戸市須磨区松風町4丁目1番地 鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付3階建 4161.31㎡	1995年度	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	1,748,374,775	1,032,073,949	716,300,826
	(きぼう拠点)(愛の家拠点) 大阪府泉南郡岬町淡輪1600番地の2	2001年度	第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	546,025,386	319,447,908	226,577,478
	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 総合福祉施設1棟、 附属建物コンクリートブロック造重鉛メッキ鋼 板葺平家建築庫・ポンプ室 2481.37㎡	2003年度	第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	173,980,880	104,463,406	69,517,474
	(愛の家拠点) 大阪府泉南郡岬町多奈川谷川1658番地1、 1685番地10、1674番地	2003年度	第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	173,980,880	104,463,406	69,517,474
	鉄骨造ルーフィング葺平家建、附属建物軽量鉄 骨造重鉛メッキ鋼板葺平家建作業所 433.05㎡					
			小計			1,012,395,778
定期預金		—		—	—	1,000,000
			基本財産計			1,231,337,152
(2) その他の固定資産						
土地	(就労継続B型「工房みさき」) (有料老人ホームあいハート離宮前) 神戸市須磨区離宮前町2丁目165番2	—	第2種社会福祉事業である就労継続支援B型に使用している	—	—	356,265
		—	公益事業である、有料老人ホーム等に使用している	—	—	190,000,000
			小計			190,356,265
建物	(有料老人ホームあいハート離宮前) 神戸市須磨区離宮前町2丁目165番2	2013年度	公益事業である、有料老人ホーム等に使用している	602,215,467	201,501,035	400,714,432
	(あいハート須磨、きぼう、愛の家、脳梗塞リハビリサービス拠点) 建物付施工事他	—		116,186,479	29,813,206	86,373,273
			小計			487,087,705
構築物	農地水路工事 他	—	第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	47,533,535	19,290,089	28,243,446
車輛運搬具	アクティバン 他	—	利用者送迎用	8,863,530	8,799,689	63,841
器具及び備品	耐火金庫 他	—	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	188,552,769	122,853,921	65,698,848
建設仮動定	共立建設他	—	工事着手金他	—	—	16,568,000
有形リース資産	ハイエスウェルキャブ 他	—	利用者送迎用	27,506,196	22,288,184	5,218,012
権利	近畿労働金庫出資証券	—	利用者送迎用	—	—	40,598,000
	あいハート須磨電話架設権利他	—	利用者送迎用	—	—	1,379,656
			小計			41,977,656
ソフトウェア	給与計算ソフト 他	—	第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	1,407,100	735,784	671,316
無形リース資産	ほのぼのシリーズ 他	—	第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	10,676,124	7,509,734	3,166,390
長期貸付金	職員	—	就職支度金貸付	—	—	1,000,000
退職給付引当資産	大阪府民間共済他	—	事業主負担掛金累計額	—	—	61,603,426
建設修繕積立資産	近畿労働金庫 普通預金	—	将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	325
	近畿労働金庫 神戸支店	—	将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	90,000,000
	池田泉州銀行 定期預金	—	将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	6,200,000
	近畿労働金庫 定期預金	—	将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	32,700,000
	近畿労働金庫 定期預金	—	将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	8,000,000
	近畿労働金庫 定期預金	—	将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	47,000,000
	池田泉州銀行 定期預金	—	将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	58,000,000
	近畿労働金庫 普通預金	—	将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	39,000,003
			小計			280,900,328
備品等購入積立資産	近畿労働金庫 定期預金他	—	将来における備品等購入の目的のために積み立てている	—	—	24
施設整備等積立資産	近畿労働金庫 定期預金他	—	将来における備品等購入の目的のために積み立てている	—	—	28,000,000
基金積立資産	近畿労働金庫 普通預金	—		—	—	18,386,848
措置施設繰越特定積立資産	池田泉州銀行 定期預金	—	将来における施設整備・人件費の目的のために積み立てている	—	—	6,000,000
差入保証金	エクセル賃貸システム他	—	グループホーム賃貸敷金	—	—	3,056,100
長期前払費用	全国有料老人ホーム協会	—	入会金	—	—	559,398
その他の固定資産	長期預り金特定預金	—	入居一時金特定預金	—	—	29,082,949
			その他の固定資産合計			1,267,640,552
			固定資産合計			2,498,977,704
			資産合計			2,987,823,376
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	業者支払他	—		—	—	72,116,838
1年以内返済予定設備資金借入金	近畿労働金庫 福島支店	—		—	—	19,089,924
1年以内返済予定リース債務	車輛リース他	—		—	—	3,998,520
未払費用	大阪府民間共済掛金	—		—	—	154,220
預り金	研修講師 源泉所得税	—		—	—	4,158
職員預り金	源泉所得税預り金	—		—	—	495,361
	社会保険料預り金	—		—	—	928,720
	退職共済掛金	—		—	—	8,820
	住民税預り金	—		—	—	575,500
			小計			2,008,401
賞与引当金	賞与支給見込み額の内当期帰属額	—		—	—	36,324,400
未払消費税等	確定消費税	—		—	—	978,200
			流動負債合計			134,674,661
2 固定負債						
設備資金借入金	近畿労働金庫 福島支店	—		—	—	560,466,845
リース債務	車輛リース他	—		—	—	4,385,880
退職給付引当金	退職共済期末要支給額	—		—	—	92,480,969
長期預り金	入居一時金	—		—	—	69,837,835
			固定負債合計			727,171,529
			負債合計			861,846,190
			差引純資産			2,125,977,186

新人紹介



愛の家



▲長岡 愛美

4月から愛の家に入職しました(「きぼう」児童部に配属)長岡 愛美(ながおか まなみ)です。よろしくお願いします。

大学では幼児保育の勉強をしていました。3回生の施設実習で、障がいの重い方々と出会い、私たちが普段何気なくできていることが、利用者さんにとっていかに難しいことなのかを知り、障がいについてもっと学びたいと思いました。4回生の実習では、愛の家「かがやき」成人部で実習をさせてもらい、その気持ちは更に膨らみ

強くなり、深く知識を得て専門性ある支援がしたいと思ようになりました。

入職して約2か月、あっという間でした。利用者さんとの関わりは、楽しい反面、どうすればより良い支援ができるのか悩み考えることの方が多く毎日です。

まだ入職して覚えることだらけで目の前の仕事で精一杯ですが、優しい先輩方のもとこれからも頑張っていきたいと思います。

はじめまして、この4月から愛の家に入職(児童部きぼう配属)しました佐藤 皓基(さとう こうき)です。

私は、大学で幼児保育を専攻し勉強してきました。

大学3年生の時点では保育園で働きたいという思いがありました。

ところが、4年生になり愛の家で実習をさせてもらい、障がい児への支援の難しさや楽しさ、やりがいの多さを感じました。

また、5つ年齢が離れた私の妹がB1の知的障がいを持っており、両親が共働きで忙しかったこともあり、家では

私が妹に勉強を教えたり、次の日の用意を一緒にしたり、朝は学校と一緒に登校したりと妹の生活を支えてきました。

この経験を愛の家で活かせるのではと考えるようになりました。

そして実習後、迷いなく入職を希望し採用試験を受けました。

まだまだ分からないことや、至らない点もたくさんありますが精一杯頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



▲佐藤 皓基



▲河野 莉織

はじめまして、吹田市から来ました河野 莉織(このりお)です。4月から愛の家「かがやき」に配属になりました。この場をかりて、自己紹介をさせていただきます。

好きなことは音楽鑑賞(邦ロック)、他は料理が好きです。得意料理は唐揚げとお味噌汁、あとはお菓子作りになります。ミルフィーユです。只今魚の三枚おろしを練習中です。できるようになったら、ムニエルを作りたいと思います。

現在、私は一人暮らしをしています。一人暮らしをしようやく親の有難みを改めて知りました。仕事で疲れて帰ってきてても家族のため、家事を全てこなしてくれていたことを

本当に尊敬しています。

入社してから、利用者さんと良い関係を築いていけるか不安ばかりでしたが、自分なりに距離を考え利用者さんと接しているうちに、利用者さんからも接してくれるようになってきました。そのこともあって仕事自体、楽しくなりました。

また先輩職員の方も、わからないことがあればすぐに教えていただき、沢山支えていただけているので、とても助かっています。まだまだわからないことだらけで迷惑をお掛けしていますが、もっともっと頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。

はじめまして。4月から「かがやき三丁目」で働くことになりました、速水 雄大(はやみ ゆうだい)と申します。

私が愛の家を選んだ理由は、去年、三重県熊野市で行われた全国の企業が集まり、企業説明をしてくださる熊野市企業フェアの説明を受けに行ったことがきっかけでした。その際、愛の家のスタッフの方から施設についての説明を受け、優しく対応していただきました。職場見学でも、気になる点に対して優しく対応していただいたことが非常に気に入って愛の家を選びました。

初めての一人暮らしで不安なことは少なからずありますが、頑張っていこうと思います。

普段休日は学生時代の友人と通信を繋ぎ、オンラインでゲームや雑談をして羽を伸ばしております。

現在、介護福祉士の資格取得を目指しています。仕事と両立して頑張っていきたいと考えておりますので、温かい目で見守っていただけると幸いです。

これからよろしくお願い致します。



▲速水 雄大



▲岡原 颯大

4月から、愛の家「工房みさき」で働くことになりました岡原 颯大(おかはら そうた)と申します。

はじめに私の自己紹介をしたいと思います。私は、九州の宮崎県からきました。大阪に来て、いかに地元が田舎なのか実感しました。

私の趣味は、音楽を聴くこと、作ること、歌うことです。暇になれば常に音楽のことで頭がいっぱいです。今どきの曲も昔の曲もある程度は分かるので、機会がありましたら沢山音楽の話を楽しみましょう。

次に、私が工房みさきで頑張っていることは、利用者の方との信頼関係を作ることはもちろん、就労継続支援B型サービス、生活介護サービスでの仕事内容を覚え作業を円滑化させることです。まだ慣れなくて失敗もあるけれど、後々の自分自身の力をつけるためにたくさん働いていきたいです。これから、ご迷惑をかけてしまう場面も多くあると思いますがよろしくお願い致します。

あいハート須磨

はじめまして。3月にあいハート須磨特養に入職しました、藤原 祐樹(ふじわら ゆうき)と申します。

以前も従来型の特養に数年努めており、その経験はこの施設でも活かしていきたいと思っています。環境が変わりわからないことも沢山ありますが、先輩方に優しく助けられながら勉強中です。焦らずに環境に慣れていき、日々の仕事をこなせるように早くになりたいと思っています。

自分自身の介護への関わり方として利用者様の日常を向上させたいという思いを持っています。変わらない毎日を送っていただくだけではなく、今日は楽しかったなどと思っていただけるような1日を送れるように、利用者様と接し、支援していけたらと考えています。

まだまだ至らぬ点多々あると思いますが、精一杯頑張っておりますのでご指導、ご鞭撻の程よろしく申し上げます。



▲藤原 祐樹



▲藤田 希

はじめまして、3月からあいハート須磨の3階フロアで働いております、藤田 希(ふじた のぞみ)と申します。

病院での看護助手経験が長く、ショートの利用者様への対応経験が全く無いので、先輩の皆さんに助けをもらい、ご指導、ご鞭撻をいただきながら3ヶ月目になりました。

利用者様とのコミュニケーションも多く、賑やかな雰

囲気の中での仕事にやり甲斐を感じながら日々取り組んでいます。早く、けれど焦らず、業務を覚え皆さんと馴染めるように頑張っていきます。

まだまだ未熟ではありますが、利用者様の事、あいハート須磨の事を知り、学んだ新たな事をしっかりと自分のものにし、自身を一層成長させていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

初めまして。4月からあいハート須磨の特養で働いております、清水 那奈(しみず なな)と申します。

介護の職業に興味を持ったのは中学生の頃でした。あまり物事に興味がなく何か興味を持てることはないだろうかと考えていたところ、地域のデイサービスからボランティア活動の勧誘があり参加することにしました。そこで利用者様と職員さんの関わりを見た時に、とても楽しそうな空間で、人と関わる仕事っていいなと感じました。また、小さいころから近所のおじいちゃん、おばあちゃんが大好きで、一人ひとりの人生に関わり、生活

のお世話をさせていただきたいと考えました。

中学生の頃に思っていたものと、学習や実習で知った介護はあまりにも違い、戸惑うこともありましたが、勉強をするうちにもっと介護が好きになりました。

そして、実際に介護の現場で働き始めていますが、職員さんに丁寧に指導していただきながらとても楽しく仕事をしていますし、これからもやりがいを感じられるように頑張っていきたいと思っています。

今後ともご指導宜しくお願いいたします。



▲清水 那奈

あいハート離宮前

2月にあいハート離宮前に入社しました大倉と申します。

介護士として他の施設に6年勤めておりましたが、有料老人ホームで働くのは初めてで、入社した頃は不安も多く余裕のない毎日でした。

何事にも消極的で自信がない、そんな私を励まし続けて下さり、そっと背中を押して下さったのが、あいハート離宮前の先輩方でした。そんな素敵な先輩方に囲まれ、恵まれた環境の中で日々楽しく学ばせて頂いております。

入居者の笑顔や、「ありがとう」のお言葉に力を頂く毎日です。介護士を始めた時からモットーにしている、「心を豊かにする介護」を日々実現していける様、これからも精一杯頑張っております。不慣れな点多く、ご迷惑お掛けすることもあると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。



▲大倉 加奈

ご支援をくださった方々

《4月》後援会費

NTT西日本 関西支店
社会福祉推進委員会 様

寄付金

小林 照幸 様

(計2件)



《5月》寄贈品

斉藤 文子 様
高木 淳子 様
宮富 信明 様

寄付金

NTT西日本 関西支店(マッチングギフト) 様
NTT労働組合 関西総支部 大阪南分会
(チャリティーゴルフコンペ) 様

ありがとう
ございました

(計5件)



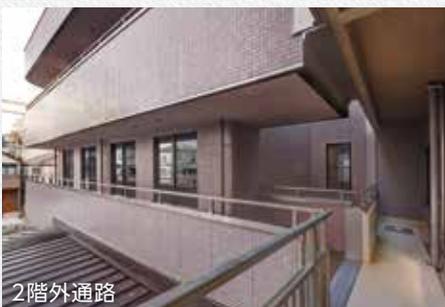
特別養護老人ホームあいハート須磨

リニューアルOPEN案内 Part1

2021年から工事を進めておりました、あいハート須磨増床及び大規模改修も順調に進捗しております。おかげさまで、6月末には全ての工事が完了し、リニューアルOPENいたします。

地域住民の皆様のご理解、NTT労組関係の皆様や施設関係者様からのご寄附等、ご支援に大変感謝いたしております。誠に有難うございました。

今回は特養・ショートエリアのリニューアルについて一部ご紹介いたします。



カーテンで覆われていた多床室に和風の間仕切りを設置する“プライバシー改修”を実施したことにより、従来型施設の強み(低価格な居室料)を残しつつも、快適なプライバシー空間を併せ持つ環境へと生まれ変わりました。

更に、1階には職員専用の休憩室(個室4室)を完備!

随時、介護職員の求人も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください

あいハート須磨施設長 高岡 順二 / 副施設長 根木 浩司

次回261号(11月号)で、デイサービスエリアの改修についてご紹介いたします。

「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73
TEL 06-6458-5723
Website <https://www.zendentu-kinki.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>
E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

